

## 民進党から立憲民主党

まっとうな政治を！

私は、5月11日付けをもちまして、民進党から立憲民主党に移籍いたしました。

民進党が分裂し、野党が混乱の度合いを深め、安倍政権の不正や横暴は目に余るものがあります。森友問題や加計問題での公文書改ざんや、事実を隠蔽する忖度政治はもう飽き飽きしていると思います。

日大アメリカンフットボール部の危険タックルは、行為としては決して許される問題ではありません。しかし、加害者の選手や関東連盟の明確な判断には政治家も行政も多に学ぶべきものがあつたのではないのでしょうか。不正と戦い真実と向き合う、こうした姿勢が政治の世界に求められていると思います。

区議会民進党から

「区議会区民の会」へ移行

これまで区議会民進党として活動を進めてきましたが、それぞれが旧民進党（国民民主党）や立憲民主党、無所属に政党が変わったため、会派の名称を「区議会区民の会」と改称しました。

会派は、これまでどおり5名の議員で活動を続けてまいりますので皆様方の暖かなご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

中里省三江戸川区議会議員



新庁舎建設検討特別委員会

標題の「新庁舎建設検討特別委員会」が設置されました。会派からは、私中里省三と神尾昭央区議が選出されました。

平成26年10月に「庁舎移転問題検討特別委員会」が設置され、数回の協議が行われ、船堀4丁目の都営住宅跡地が候補として決まりました。この土地は東京都の所有であり、東京都の許可がなければ移転することはできません。いずれにしても、議会としては船堀の都営住宅跡地を新庁舎建設の候補として決めたわけであります。

今回の「新庁舎建設検討特別委員会」はこの決定を受け、速やかに新庁舎の建設計画を進めるための特別委員会であります。